

港湾振興便り



2015. 3
第95号

*:

目 次

*:

1 ポートエッセイ ー 昨年各港の実績は？
新潟港は薄日、直江津港は晴れー
～日本港湾振興団体連合会会長(新潟市長) 篠田 昭～

2 トピック

● 両津港がみなとオアシスに登録
(北陸地方整備局 新潟港湾・空港整備事務所)

● 第1回北海道太平洋側港湾BCP策定検討会の開催
(北海道開発局港湾空港部港湾計画課)

● 別府港海岸事業完了報告会が開催されました
(九州地方整備局 別府港湾・空港整備事務所)

3 お知らせ

*:

1 ポートエッセイ ー 昨年の各港の実績は？

新潟港は薄日、直江津港は晴れー

～日本港湾振興団体連合会会長(新潟市長) 篠田 昭～

*:

昨年の各種データが先月頃からまとまってきている。各地の港湾のコンテナ取扱実績も速報値が発表されていることと思う。新潟県内の港湾実績も新潟県から示されたので、参考までにご紹介する。
(新潟港は過去3番目の数字)

新潟港の外貨コンテナ取扱量は18万1734TEUとなった。2011年は3・11大震災で被災地域の支援物資の集約基地となったことや被災地域港湾の代替機能を果たしたことなどで20万TEUを超えた。これは例外の数字だが、昨年の実績は前年の18万5626TEUに届かず、前年比97.9%となった。実入りコンテナの数字も12万9129TEUで前年比94.9%とちょっと残念な数字で終わった。

大きな輸出関連産業が弱い新潟市では、円安のメリットをあまり享受できず、紙・パルプや古紙などの再利用資材が落ち込んだこともあって、実入りで前年比86%台に落ち込んだことが響いた。輸入は衣服、身のまわり品、履物などが好調だったが文房具や運動娯楽用品などの日用品が不振だったため前年比は99.8%とほぼ横ばいだった。

(直江津港は5年連続で過去最高)

一方、直江津港の方は3万1341TEUと昨年も過去最高を記録。これで5年連続の記録更新となった。しかし、こちらも輸出は円安効果を活かしきれず実入りでは前年比98.6%で終わった。輸入は建築資材や農産品などが好調で、実入りは前年比117.8%と大きく増加した。

(それぞれの港湾で分析し対策を)

それぞれの港湾でも結果が出、既にその分析と対策に動き出していると思う。アベノミクス効果は地域によってかなり差が出ているように思うし、円安効果についても同様ではないだろうか。港湾の実績をしっかりと見つめながら、これからの「まち・ひと・しごと創生」の総合戦略づくりに活用していこう。

●第1回北海道太平洋側港湾BCP策定検討会の開催

(北海道開発局港湾空港部港湾計画課)

平成27年2月16日(月)、「北海道太平洋側港湾BCP策定検討会」を札幌市で開催しました。

本検討会は、北海道太平洋側港湾(函館、室蘭、苫小牧、十勝、釧路、根室の6港湾を対象)が、広域かつ甚大な被害が発生した場合に港湾物流機能の継続もしくは早期回復のため、北海道開発局、北海道庁、港湾管理者等、関係機関が連携・協働して取り組む共通の行動計画の策定を目的として設置し、検討を進めています。

最初に、岸座長(北海道大学工学院准教授)から、「各港湾における横の連携は重要。まずは考え方を整理し、策定後の訓練などを通じて、長期的なスパンでの検討が必要」と述べられました。

引き続き、事務局より「本計画の役割と基本方針」、「港湾物流機能継続のための目標・方針」等について提示しました。

委員からは、「多様な被害が想定されるため、計画にこだわらず臨機応変に対応することが大事」など、多数の意見が出されました。

次回以降は、機能継続のための行動計画についての検討も進め、平成27年度中を目標に「北海道太平洋側港湾BCP」を策定する予定です。



検討会の状況



岸座長の挨拶

●別府港海岸事業完了報告会が開催されました

(九州地方整備局 別府港湾・空港整備事務所)

高潮対策として平成13年度より整備を進めていた別府港海岸事業の完了報告会が2月21日(土)に開催されました。

式典では、広瀬大分県知事(代理 二日市大分県副知事)、浜田別府市長、鈴木九州地方整備局副局長の式辞に続き、来賓祝辞、事業概要の説明が行われた後、地元保育園児も参加してテープカットが行われました。

別府港の海岸線は、港の拡張整備等に伴い築造されてきましたが、老朽化が激しく、また、高波等に対する防護機能も不足しているため、越波や高潮による被害が継続的に発生していたことから、平成13年度より直轄海岸保全施設整備事業(高潮対策)に着手しました。

